

令和4年度学校経営全体構想

海津市教育の方針と重点

児童の実態

- 相手を思いやる優しい心もち、誰とでも仲良く活動できる児童が多い。
- 基本的な生活習慣や基礎的な知識・技能等が身に付いている児童が多い。
- 生活上の課題に気付き、その解決のために、主体的に話し合っ て行動する姿に弱さがある。

学校の教育目標

心豊かで たくましい 吉里の子

- ・ 仲間を思いやり大切にする子
- ・ めあてに向かい進んで学ぶ子
- ・ ねばり強く鍛え続ける子

「いのち」をつなぐ教育

- ・ 人や地域のつながりを生かした開かれた活力ある学校経営
- ・ 自己の課題を明確にし、主体的に進め、確かな指導力を身に付ける研修
- ・ ねらいを明確にした指導による「生きる力」の育成

【経営の方針】

児童・教師が、自分の良さを発揮し、笑顔と思いやりで輝く学校づくり

キーワード：よく考え行動する

仲間を思いやり大切にする子

＜自分や仲間の気持ちを考えて動く＞

〈豊かな心の育成〉

- ・ 道徳教育の充実（道徳の時間の指導の工夫と改善）
- ・ 人権同和教育の充実

〈生徒指導体制〉

- ・ 望ましい人間関係の構築、自己指導能力の育成

- 所属感と自己有用感をもたせる学級経営

〈縦割り集団活動・児童会活動〉

- ◎ 児童の主体性と自治の力を高め、自信と誇りをもたせる活動の実施
- ・ なかよし班活動の工夫
- ・ 「吉里小4つの伝統」の推進（スマイル信号、アイコンタクトあいさつ、さしすせそうじ、聞く話す）

めあてに向かい進んで学ぶ子

＜主体的に考え、発信する＞

〈確かな学力の育成〉

- ・ 「学力向上に関わる指導改善サイクル」の推進

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る授業の充実

- ◎ 思考力、判断力、表現力の向上を図る授業の工夫

- ・ 校内研究の推進

- ・ ICTの活用推進

- ・ 家庭との連携を図った家庭学習の向上

- ・ 自ら学ぼうとする意欲の喚起

〈特別支援教育〉

- ・ 誰もが「わかる・できる」ことをめざした授業づくり（UDの視点から）
- ・ 一人一人のニーズに応じたきめ細やかな指導の充実

ねばり強く鍛え続ける子

＜健康・安全を考えて行動する＞

〈体力づくり〉

- ・ 吉里タイムにおける運動の場と時間の確保（大縄跳び）
- ・ 学級遊びにおける外遊びの奨励
- ・ 体育科の授業の充実

〈健康教育〉

- ・ 感染予防のための取組の徹底
- ・ 健康のためのよりよい習慣づくり
- ・ 食育の推進（かむことの指導）
- ・ 歯磨き指導の徹底
- ・ フッ化物洗口の実施

〈安全教育・安全指導〉

- ◎ 「自分の命は自分で守る」意識の向上
- ・ 各教科等における安全指導の徹底
- ・ 「命を守る訓練」の工夫改善
- ・ 交通安全指導の徹底

教師の構え【全教職員が全児童の担任《チーム吉里》】

＜プラスに考え、議論し、高め合う＞～よりよい成長のために～

- 子どもの良さや可能性を見だし、褒めたり励ましたりして自信をもたせ、子どもの力を伸ばす教師
- 子ども、保護者、地域の人から信頼される教師
- 働き方改革を推進するとともに、自己の研究と修養に努め、確かな指導力を身に付ける教師
- 吉里小教職員の一人として責任をもち、仲間と互いに高め合い、協同して、学校の教育目標の具現に努める教師
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、一丸となって対策に取り組む教師

- 学校・家庭・地域がそれぞれの役割を理解し、強みを活かして、同一歩調で児童を育てる
  - ・ 地域の人や外部講師から生き方や考え方を学び、自己肯定感を高め、あこがれや夢をもてるようにする
  - ・ サロン吉里を中心とした地域との交流を工夫する。

- PTA活動をとおして児童を育てる
  - ・ 「子どものための親、教師になろう」
  - ・ 「あったかい絆宣言」に向けた取組の推進
  - ・ 情報モラル研修の推進
  - ・ 家庭教育：生活習慣、家庭学習習慣の確立

- 学校関係者や外部の評価を生かして子どもを育てる
  - ・ 教職員の自校評価
  - ・ 保護者による学校評価アンケート
  - ・ 児童のアンケート
  - ・ 学校評議員の会
  - ・ 民生児童委員の学校訪問
  - ・ 学校保健安全委員会
  - ・ 地域の方（ボランティア、安全サポーター等）の意見等